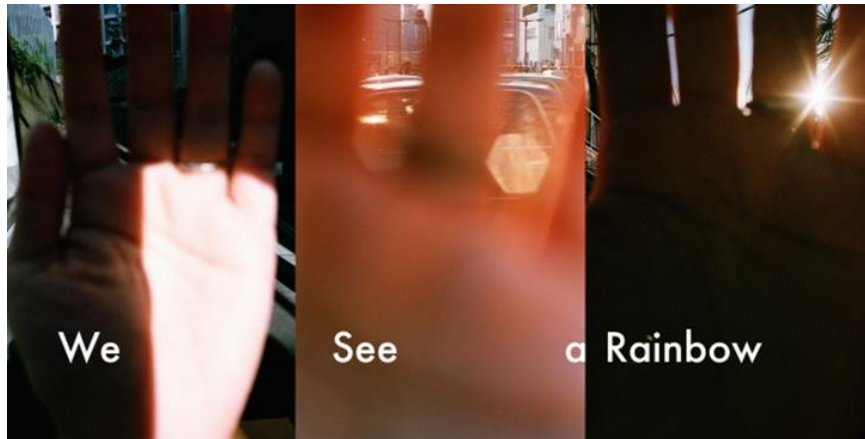


写真家・森 栄喜が写真でも映像でもない、新しい表現「詩」の朗読に取り組む

ア・ポエット： ウィー・シー・ア・レインボー

『A Poet: We See a Rainbow』。

芸術的でメッセージ性の強い作品を発表する writtenafterwards の山縣良和が衣裳をデザイン。



© Eiki Mori Courtesy of KEN NAKAHASHI

日本の同性婚実現をパフォーマンスを通して訴えた『Wedding Politics』、パートナーの男性、子供との架空の家族の姿を道行く人に撮影してもらう F/T17 の『Family Regained: The Picnic』と一貫して、自身が体感する社会問題を公共空間に投げかけてきた森栄喜。2度目の F/T 参加となる今回は、これまでに手がけてきた写真ではなく、「詩」の朗読を通じて、LGBTをはじめとする多様性のあり方を探っていく。

森が詩を書き始めたのは20代。その後写真中心の生活を送ってきたが、近年になって詩作を再開した。その出発点はニューヨーク留学中に会ったLGBT当事者たちの朗読会。私的なことから政治をテーマにしたものまで、臆せずに表現する様子に触発された記憶は、まちなかで個人的な感情や出来事を交えた詩を朗読する、今作のコンセプトにも受け継がれている。公園や路地の一面で、誰かが目撃し、耳を傾けることでしか成立しないパフォーマンス。芸術的でメッセージ性の強い作品を発表する writtenafterwards の山縣良和が衣裳デザインに参加。森が投げかける真情、問いは、どんな出会いを生み出すのだろう。

ア・ポエット： ウィー・シー・ア・レインボー

『A Poet: We See a Rainbow』公演情報

- 作・演出・出演：森 栄喜（朗読、パフォーマンス）
- 衣裳デザイン：writtenafterwards
- 上演時間：30分以内（予定） ●入場無料（10/20のみ要予約 予約方法はF/T公式サイトにて掲載）
- 日時・会場：
 - 10/20 (Sat) 17:00 / 20:00 ジュンク堂書店 池袋本店 9階ギャラリースペース
 - 10/21 (Sun) 15:00 南池袋公園 サクラテラス ※悪天候中止
 - 10/22 (Mon) 15:30 東京芸術劇場 劇場前広場 ※雨天の場合はローア広場で実施
 - 18:00 東京芸術劇場 ローア広場

広報に関するお問い合わせ： フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 広報：小倉明紀子、神永真美

TEL：03-5961-5202 FAX：03-5961-5207 MAIL：press@festival-tokyo.jp

〒171-0031 東京都豊島区目白5-24-12 4階 ウェブサイト www.festival-tokyo.jp

【アーティスト・プロフィール】

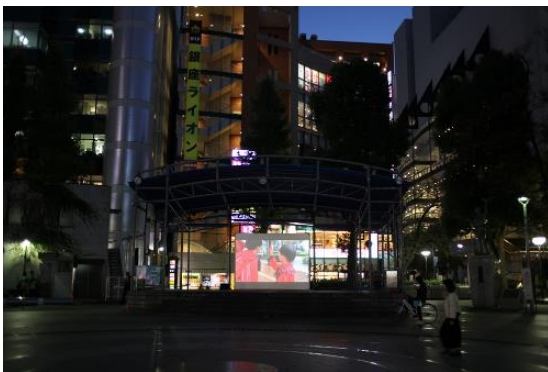


森 栄喜 (写真家)

1976年石川県生まれ。パーソンズ美術大学写真学科卒業。2014年『intimacy』で、第39回木村伊兵衛写真賞を受賞。『tokyo boy alone』(2011)、『Family Regained』(2017)などの作品集のほか、同性婚をテーマにしたパフォーマンス『Wedding Politics』(2013-2016)がある。F/T17では新しい家族の形を提示した映像作品『Family Regained: The Picnic』を池袋西口公園、豊島区庁舎で上映した。

Photo: Shun Wakui

・過去作品



F/T17 『Family Regained: The Picnic』



F/T17 『Family Regained: The Picnic』

【衣裳デザイナー・プロフィール】



山縣良和

writtenafterwards デザイナー・coconogacco 代表

2005年セントラル・セント・マーチンズ美術大学を卒業。在学中にジョン・ガリアーノのデザインアシスタントを務める。2007年にリトゥンアフターワーズを設立。2008年より東京コレクションに参加。2014年に毎日ファッション大賞特別賞を受賞。2015年には日本人として初めて LVMH プライズのセミファイナリストにも選出された。またファッション表現の研究、学びの場として、2008年より「ここのがっこう」を主宰。

・過去作品



writtenafterwards 2018SS



writtenafterwards 2018SS

【まちなかパフォーマンスシリーズとは】

より多くの人々に気軽に舞台芸術を親んでもらうために、一昨年、昨年に引き続き劇場だけではなくまちなかの様々な場所で、演劇、映像上映、パフォーマンスなどの演目を実施します。本シリーズでは既存の演劇の枠を超える複数のアーティストと創造することを目的としています。

場所が持つ固有の歴史やそこから生まれた物語、さらには現在の東京に流れる時間が持つ雰囲気や、社会的な問題を舞台に取り入れながら、まちなかでしか成り立たない作品を作り出すフェスティバル/トーキョーの試みです。

フェスティバル/トーキョー開催概要

フェスティバル/トーキョー（F/T）は、東京芸術劇場をはじめ池袋エリアに集結する文化拠点を中心に開催する、日本最大級の国際舞台芸術祭です。2009年に誕生し、過去10回の開催において、270作品、2045公演、約61万人を越す観客・参加者が集いました。

会期：2018年（平成30年）10月13日（土）～11月18日（日）

会場：東京芸術劇場、あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）、南池袋公園 ほか

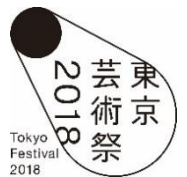
主催：フェスティバル/トーキョー実行委員会

豊島区／公益財団法人としま未来文化財団／NPO 法人アートネットワーク・ジャパン、

アーツカウンシル東京・東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

平成30年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業

（豊島区国際アート・カルチャー都市推進事業）



フェスティバル/トーキョー18は東京芸術祭2018の一環として開催されます。



※プログラムの内容等は変更になる場合がございます。

広報に関するお問い合わせ：

フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 広報：小倉明紀子、神永真美

TEL：03-5961-5202 FAX：03-5961-5207 MAIL：press@festival-tokyo.jp

〒171-0031 東京都豊島区目白5-24-12 4階 ウェブサイト www.festival-tokyo.jp